

<ご注意>

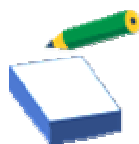


2012/10/04に最新のファームウェア「2.28」をリリースいたしました。

脆弱性の問題は、ファームウェア「2.17」のみが対象であり
「2.27」では発生しませんので「2.28」への更新は**必須ではありません**。
なお、「2.28」の修正内容は[こちら](#)。

STEP 1

▶ 型番/シリアル対象確認 ◀



本件は、以下型番かつ、シリアルナンバーの末尾が
「B」のみ対象となります。

▶ ご確認方法は
こちらを [クリック](#) ください。

対象型番／対象シリアルかを確認する方法はこのボタンをクリック

▶ ① 対象型番



▲LAN-W300N/R



▲LAN-W300N/RS



▲LAN-W300N/RU2

▶ ② 対象シリアルナンバー（末尾が「B」の記載）



▶ ③ 対象ファームウェアバージョン

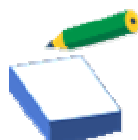
対象型番／対象シリアルかを確認する方法はこのボタンをクリック

上記の **リンク先**で、①、②をご確認ください。
「対象外」の場合は、**本件の対象ではありません。**
ここで終了となります。 ご安心してお使いください。

該当した場合のみ、以下をご参照し、
③対象のファームウェアのバージョンかをご確認ください。

STEP 2

➡ ファームウェア対象確認 ⬅



本製品（ルータ）をコントロールしているファームウェアのバージョンが
**「2.17」以外であれば、
本問題の対象ではございません。**

なお、ファームウェアのバージョン確認は、
パソコンを使用して確認します。

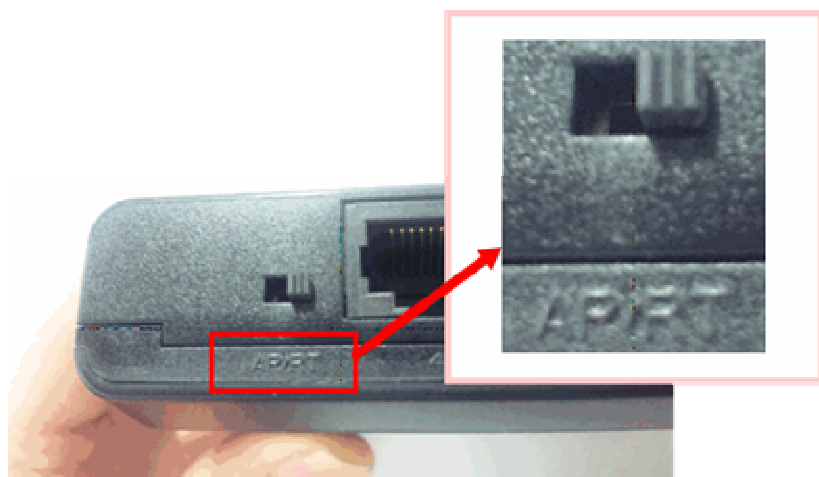
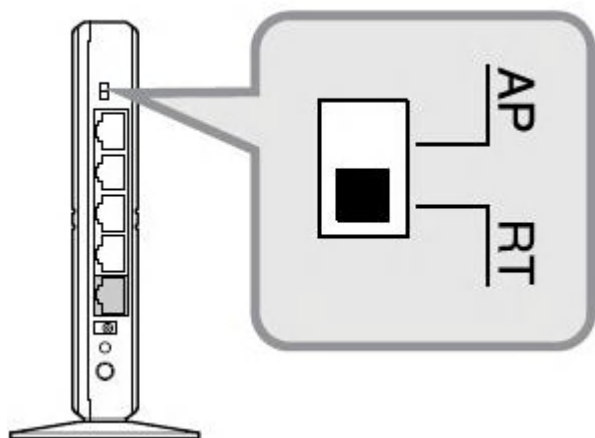
以下はその確認手順となります。

STEP 2

1. RTモードの確認。

弊社製品の背面に、AP/RT の記載のある、
小さなスライドスイッチがあります。

このスライドスイッチが、「**RT側**」に
スライドされているかをご確認ください。

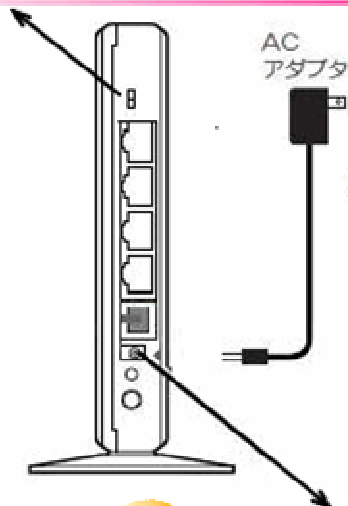


▶ AP側で使用されている場合

※スライドスイッチを「**RT側**」に**スライド**し、
電源を抜いて 再度、電源を挿し直します。

1

「AP」から「RT」にスライドします。



2

一度、電源を抜いて、挿し直します。

▶ 「AP」から「RT」に変更された場合のご注意

※APからRT側にスライド変更をされた場合は、
本手順での作業が終了しましたら、
AP側に戻すことを**忘れないよう**願います。

▶ ご参考

なお、変更されると、戻すまで
インターネットが見れない可能性があります。

RT側に変更前に

以下の **STEP 3** にて、
事前にファームウェアのダウンロードを
していただいても結構です。

ただし、対象ファームウェアでなかった場合は
後でダウンロードしたものを削除ください。

STEP 2

2. 管理画面にアクセスします。

ブラウザを起動し、ブラウザの「アドレスバー」に
数字と. (ドット)を入力し、
Enterキー(またはReturnキー)を押します。



192.168.2.1

キーボードからの入力が難しい場合、
上記数字はリンクになっていますので、クリックしてみてください。

アドレスバーへの入力イメージ



- ・（ドット）は、以下赤枠のキーとなります



STEP 2

3. ユーザー名とパスワードを入力します。

入力画面が表示されたら、上下の入力欄に
admin と入力します。

（ admin : エー、ディー、エム、アイ、エヌ ）

2つめの項目（パスワード）は、* または ● と、
表示されますが、同様に admin と入力ください。

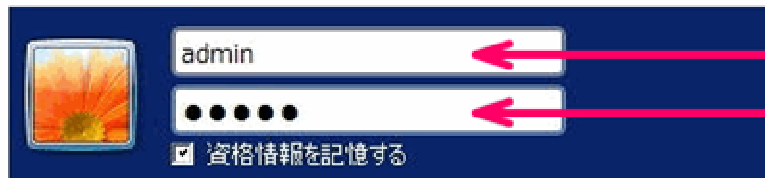
admin

(半角小文字)

Windows セキュリティ

のサーバー 192.168.2.1 にはユーザー名とパスワードが必要です。

警告: このサーバーは、ユーザー名とパスワードを安全ではない方法で送信することを要求しています (安全な接続を使わない基本的な認証)。

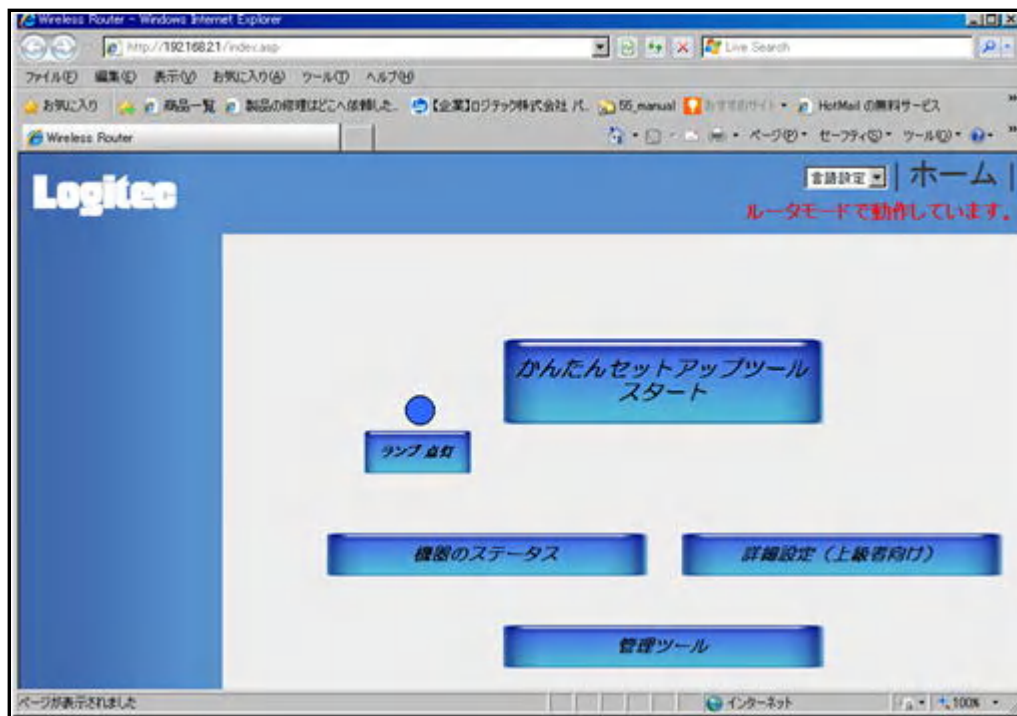


A Windows Security login dialog box with a blue header and a dark blue body. On the left is a small icon of a flower. In the center, there are two text input fields. The top field contains the text 'admin'. Below it is a password field with five black dots. To the left of the password field is a checkbox with a checkmark, labeled '資格情報を記憶する' (Remember credentials). Below the input fields are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel). The 'OK' button is highlighted with a red rectangular border.

上下とも
admin
と入力します。

STEP 2

4. ルータの管理画面が開きます。

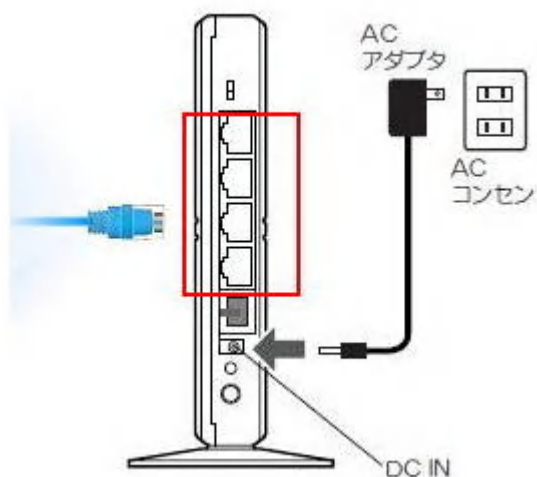


↓管理画面が開かない場合↓

LANケーブルをご用意いただき、以下のように
パソコンとルータを有線で接続します。



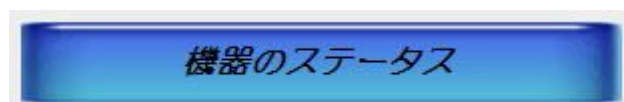
なお、ルータ側に接続するパソコンからのケーブルは、1～4のお好きな「黒い受口」に接続してください。



パソコンを再起動後、再度、管理画面を開けるかをお試しください。

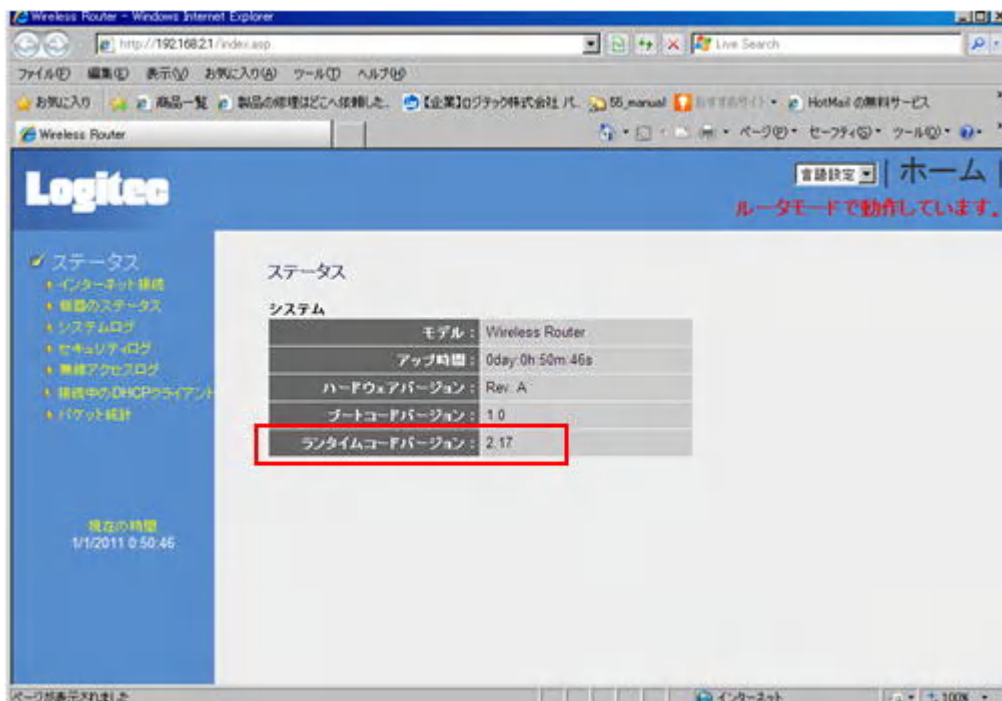
STEP 2

5. 「機器のステータス」をクリックします。



STEP 2

6. 「ランタイムコードバージョン」を確認します。



❗ 数値が「2.17」の場合のみ対象です ❗

ステータス

システム

モデル	Wireless Router
アップ時間	0day:0h:50m:46s
ハードウェアバージョン	Rev. A
ブートコードバージョン	1.0
ランタイムコードバージョン	2.17

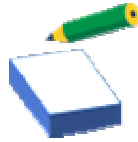
それ以外の数値の場合は、
ファームウェアの更新は必要ありません。
ここで終了となります。ご安心してお使いください。

このまま、**ご利用になれます**ので、
ブラウザの「×ボタン」で閉じてください。

数値が
「2.17」の表示の場合は、以下に進んでください。

STEP 3

▶ ファームウェアのダウンロード ◀



ファームウェアが「2. 17」または、
本件で「2. 10a」に更新された方が対象です。

弊社ホームページより
最新のファームウェアをパソコンのデスクトップに
「ダウンロード」します。

以下はその手順となります。

STEP 3

1. インターネットに繋がります。

もし、先の手順で
スライドスイッチをAPからRTに変更されていた場合は、
お手数ですが、以前の環境に戻し、ダウンロードの為に、
インターネットができるようにします。

※すでに、ダウンロードされている場合は、
インターネットに繋げる必要はありません。

STEP 3

2. ファームウェアをダウンロードします。

ご利用のOS (Windows／MacOSX) にあわせて
以下のボタンより、**ダウンロード** ください。



… 押したあとのページで



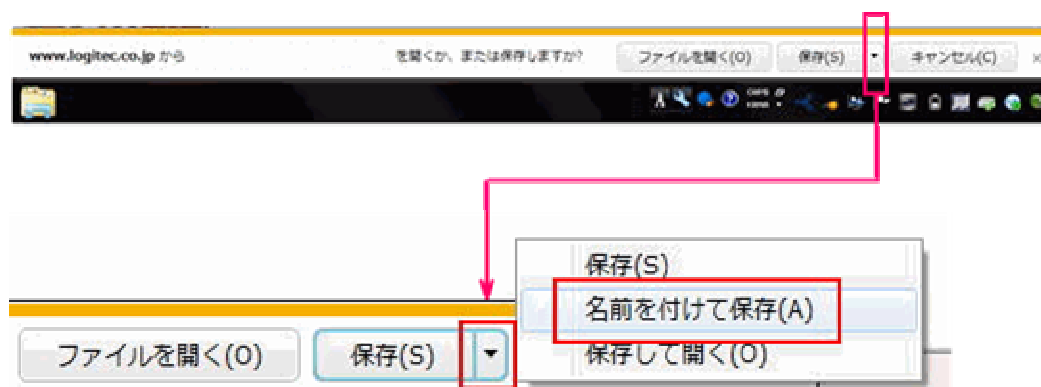
を、クリックするとダウンロードされます。

3. デスクトップに保存します。

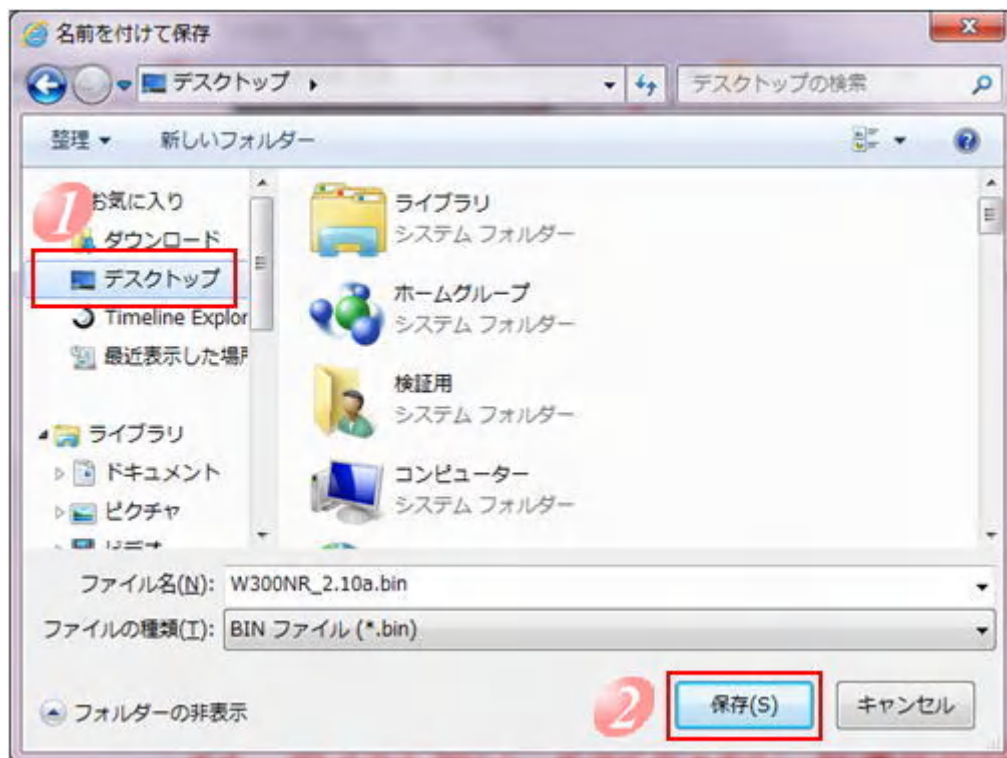
ご利用のOS (Windows／MacOSX) やブラウザにより
デスクトップに保存する方法が異なります。

▶ 画面下に以下のような画面表示される場合

※保存の右にある「▼部分」をクリックして、
「名前を付けて保存」をクリックします。



「デスクトップ」を選択後、
「保存」ボタンを押してください。



※以下のようなメッセージが表示された場合※



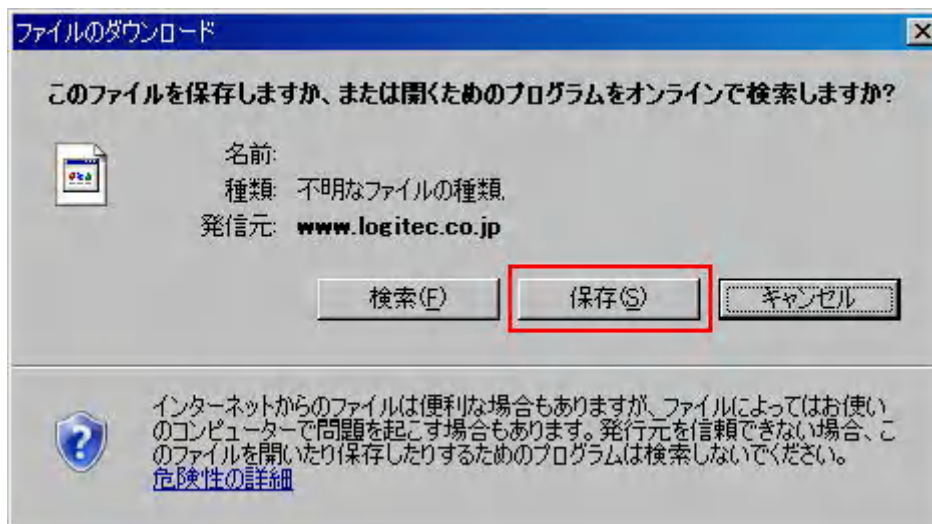
一度、表示された画面右上の「×」を押して、
デスクトップに、以下のアイコンがあるかを確認ください。



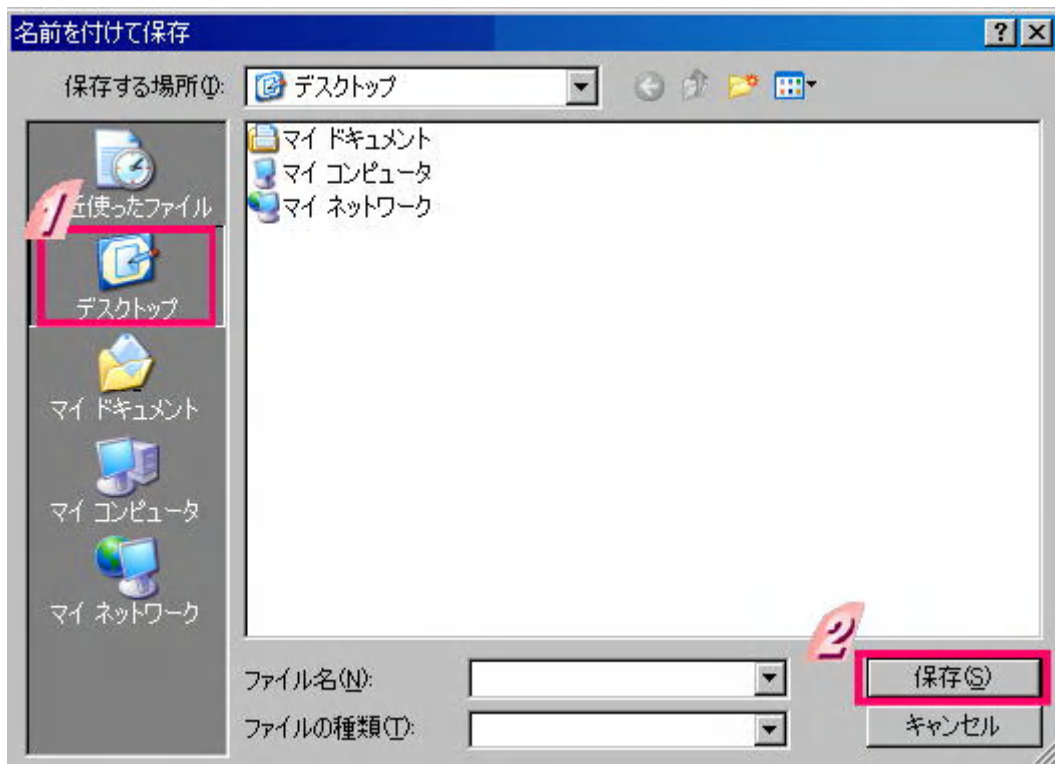
アイコンがない場合は、再度、ダウンロードを実行ください。

▶ 以下の保存画面が表示される場合

※「保存」ボタンを押します。



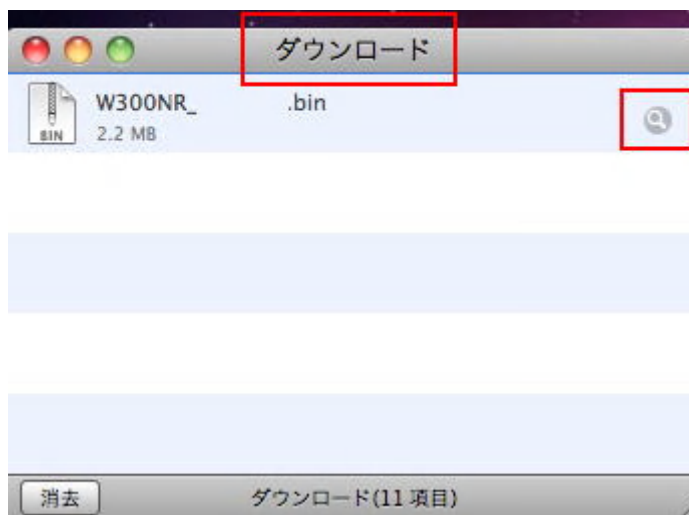
「デスクトップ」を選択後、
「保存」ボタンを押してください。



▶ MacOSXの場合

※ダウンロード(フォルダ)に保存されます。

保存が終了しましたら、右の
「虫メガネ」アイコンをクリックします。



表示されない場合は、ブラウザの右上の「下矢印」ボタンを押して、右の「虫メガネ」アイコンをクリックします。



ダウンロードしたファイルを「デスクトップ」にドラッグ & ドロップしてください。




※ファイル名は、「LANW300NR_FW228.bin」となります。

(2012/05/25現在)

4. デスクトップ確認。

「デスクトップ」に以下のアイコンがあれば、
ダウンロードは成功です。

	・・・ Windowsの場合
	・・・ MacOSXの場合

STEP 4

➡ ファームウェア更新 ⬅



ダウンロードしたファームウェアで、
製品の「更新」をします。

以下はその確認手順となります。

※インターネットが接続されている状態でしたら
事前に「**失敗した場合のご確認**」ページを開いておくことをお勧めします。



失敗した場合のご確認

⇒ 上記ボタンをクリックしますと別ページで開きます。

ご利用のOS(Windows／MacOSX)によって
更新手順が違います。

※インターネットが接続されている状態でしたら
MacOSXの場合のみ、以下のボタンを押して
事前に**操作手順**のページを開いておくことをお勧めします。



MacOSX用 更新手順

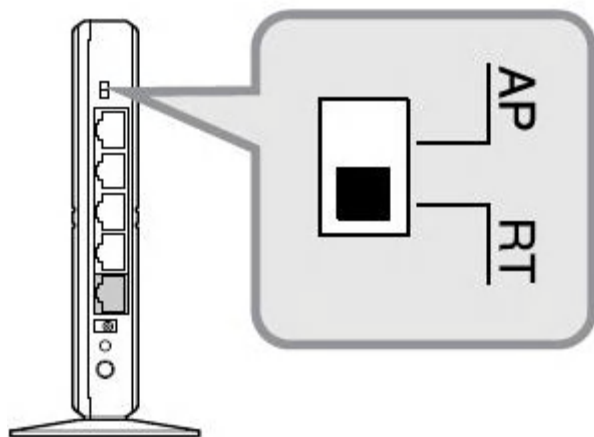
⇒ 上記ボタンをクリックしますと別ページで開きます。

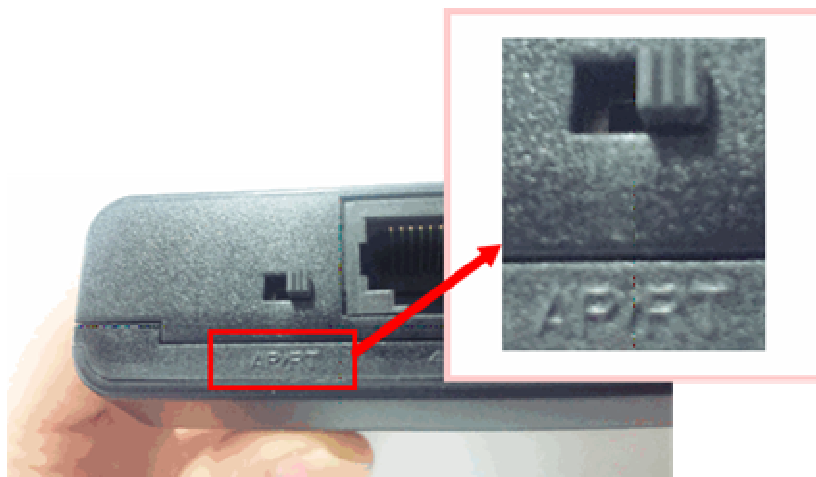
STEP 4

1. RTモードの確認。

弊社製品の背面に、AP/RT の記載のある、
小さなスライドスイッチがあります。

このスライドスイッチが、「**RT側**」に
スライドされているかをご確認ください。



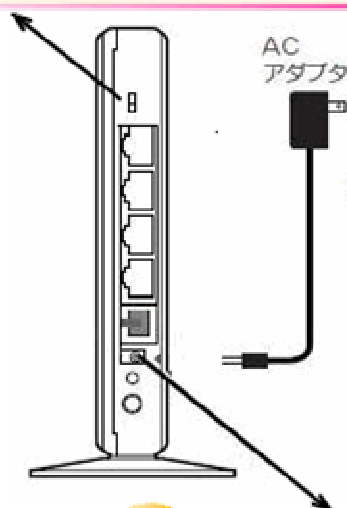


▶ AP側で使用されている場合

※スライドスイッチを「RT側」にスライドし、
電源を抜いて 再度、電源を挿し直します。



「AP」から「RT」にスライドします。



一度、電源を抜いて、挿し直します。

▶ 「AP」から「RT」に変更された場合のご注意

※APからRT側にスライド変更をされた場合は、
本手順での作業が終了しましたら、
AP側に戻すことを忘れないよう願います。

STEP 4

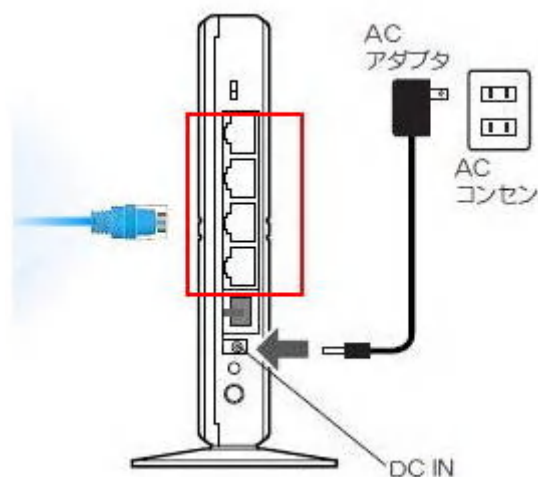
2. 有線で接続する。

>>> 更新作業は「無線」ではできません。 <<<

LANケーブルをご用意いただき、以下のようにパソコンとルータを「有線」で接続します。



なお、ルータ側に接続するパソコンからのケーブルは、1～4のお好きな「黒い受口」に接続してください。



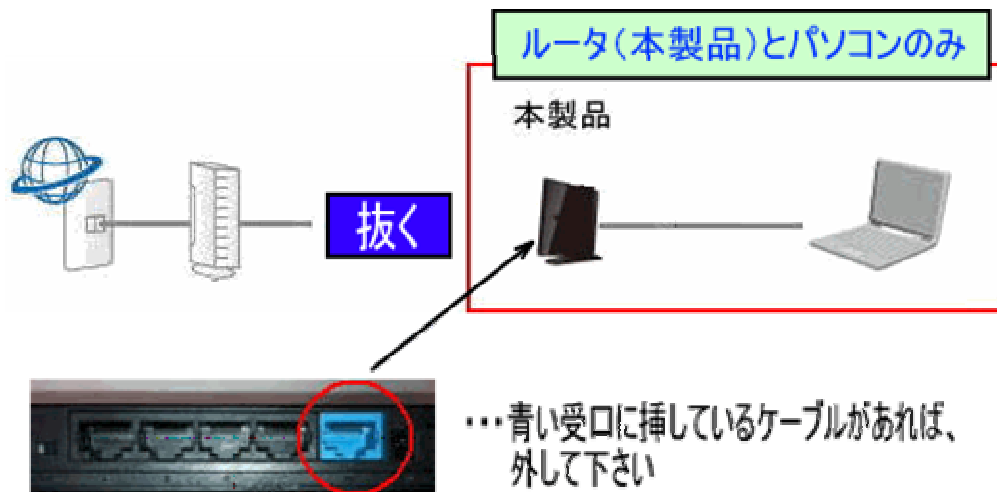
STEP 4

3. パソコンとルータのみの接続にする。

ルータとパソコンを「**1対1**」の状態にします。
その際、インターネットの接続は「**不要**」です。

ルータの青い受口に、何かケーブルを挿してましたら、
更新の間のみ、外して下さい。

<イメージ図>

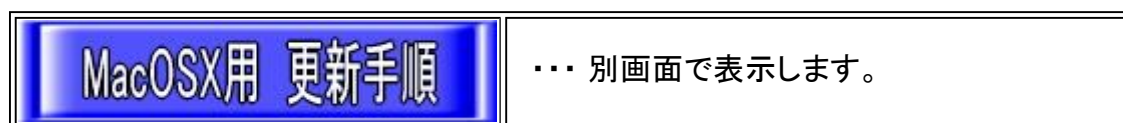


STEP 4

4. 更新を実施します。

ご利用のOS(Windows／MacOSX)によって
更新手順が違います。

MacOSXの場合は、以下のボタンで手順書が表示します。



※従来のルータの管理画面による更新方法です。
※ルータの管理画面による更新は、Windowsでも可能です。
※上記ページを表示するにはインターネットへの接続が必要です。

STEP 4

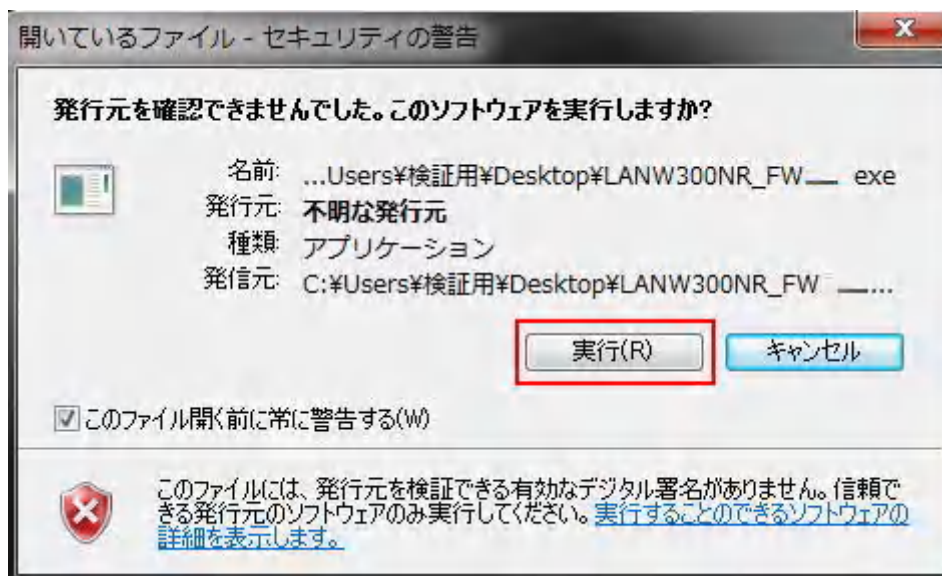
5. ダウンロードしたソフトウェアを起動します。

ー 以下は、Windows用ですー

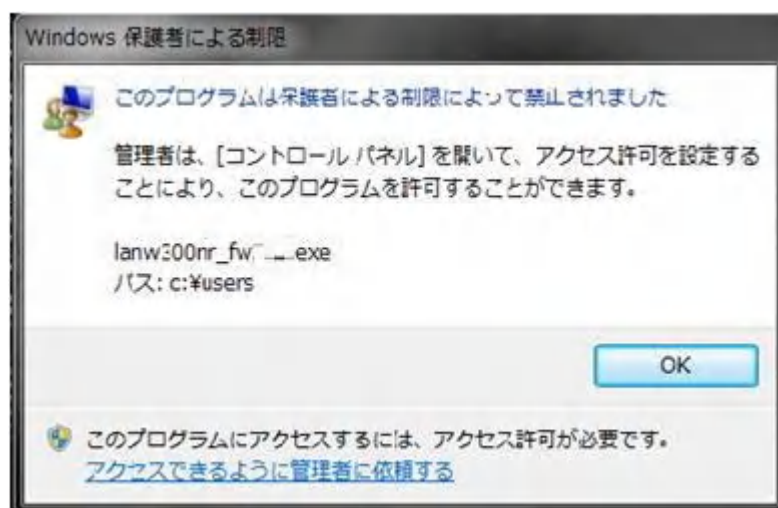
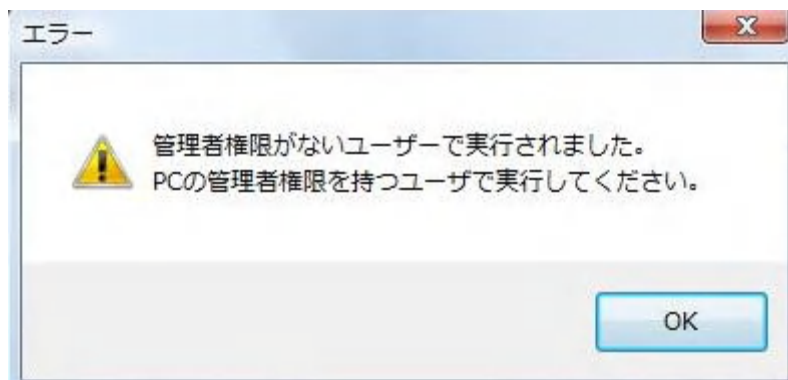
アイコンをダブルクリックして起動します。



※もし、以下の様な画面がでたら「実行」を押してください。



▶ 他に以下の様なエラーが表示される場合



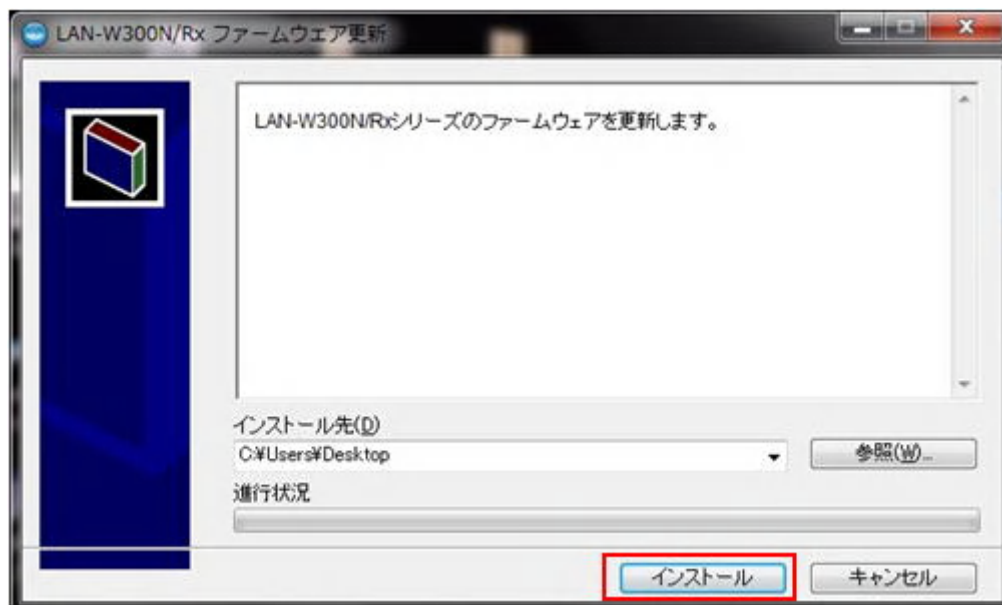
「OK」で閉じたあと、

LANW300NR_FW228.EXE を右クリックし
「管理者として実行」を選択してください。



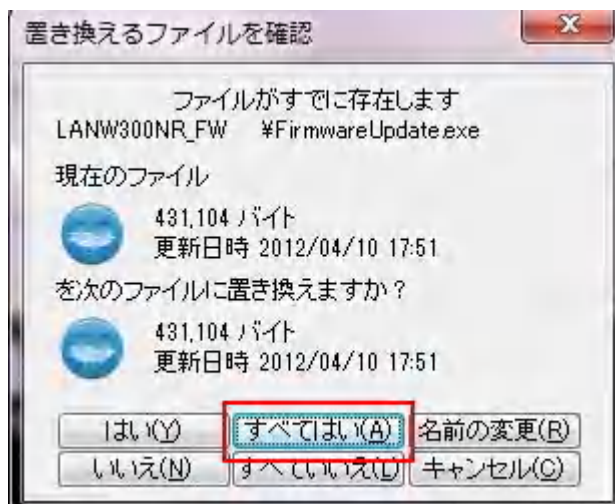
STEP 4

6. 「インストール」をクリックします。



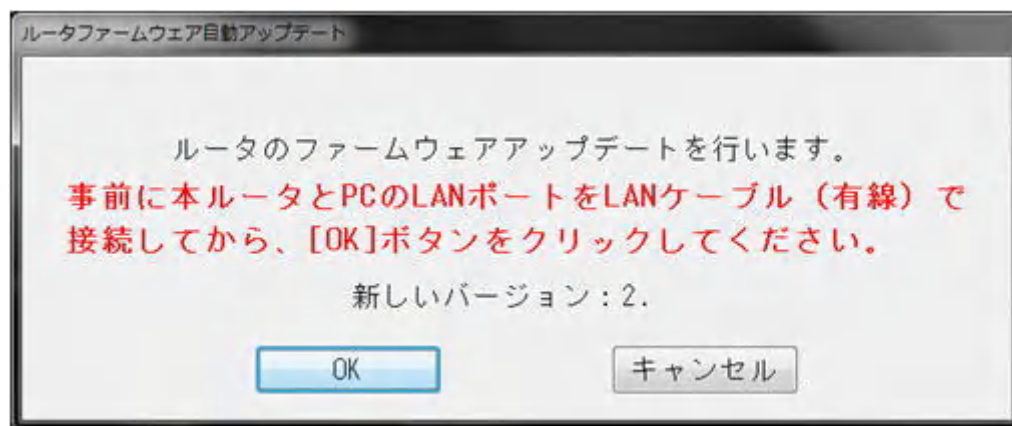
▶ 以下の様な画面が表示された場合

※「すべてはい」を選択しますと
上記の画面になります。

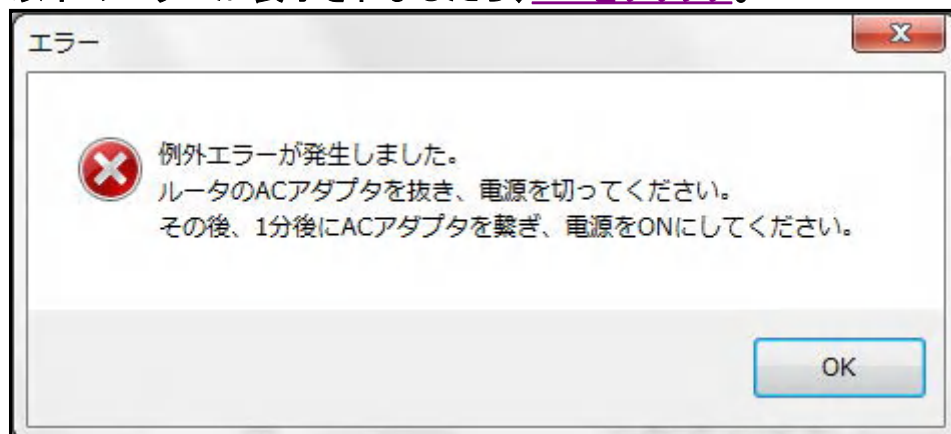


STEP 4

7. 開始画面：「OK」をクリックします。

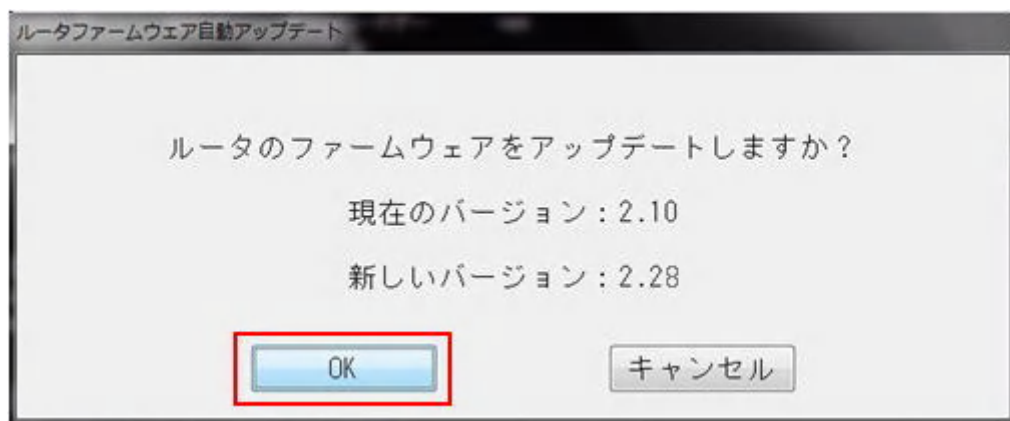


以下のエラーが表示されましたら、[ここをクリック](#)。



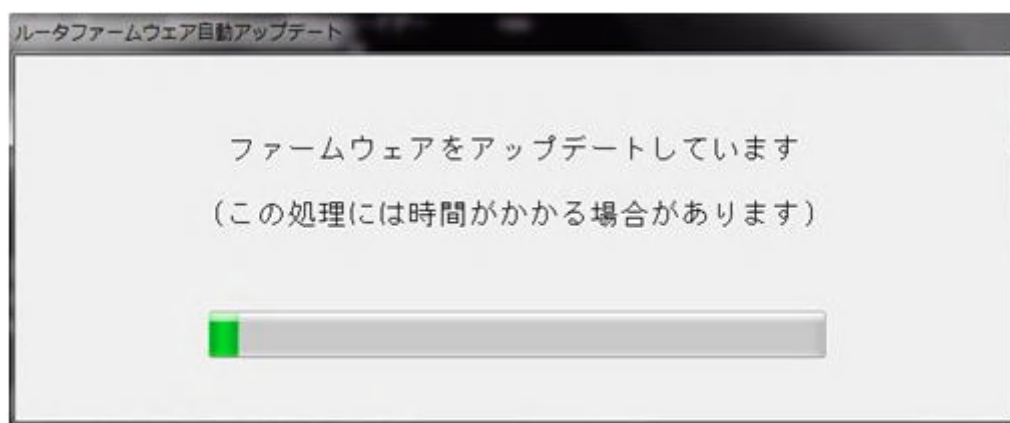
STEP 4

8. 実行画面：「OK」をクリックします。



STEP 4

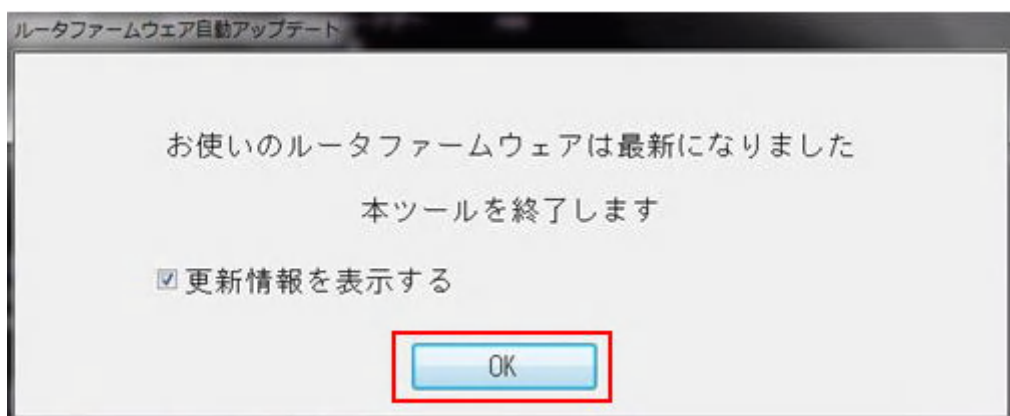
9. アップデートが開始されます。



！上記画面の様に緑のバーが表示されるまで1～2分かかる場合があります。

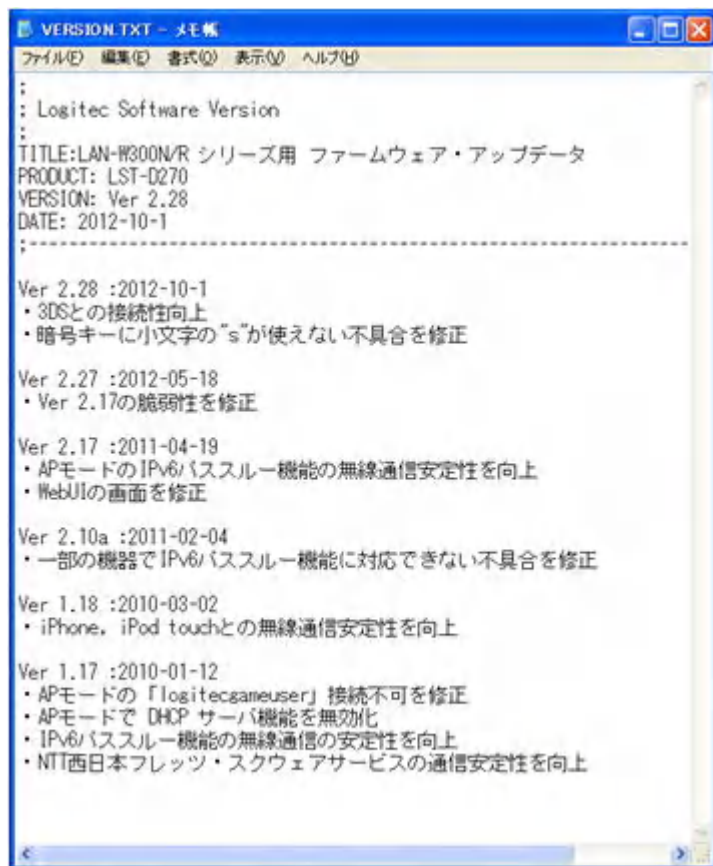
STEP 4

10. 終了したら「OK」ボタンを押します。



STEP 4

11. 「更新情報」が表示されます。



以上で、更新は終了です。
「×」ボタンで閉じてください。

なお、「デスクトップ」に保存された以下のアイコンは、
削除されて構いません。



更新については本操作で終了です。

「失敗した場合」は、以下のリンクをご確認ください。

※参照するには、再度インターネットに繋がっていただく必要があります。

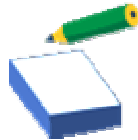


失敗した場合のご確認

⇒ 上記ボタンをクリックしますと別ページで開きます。

STEP 5

➡ 「認証ID」と「認証パスワード」の変更 ⬅



ご契約のISP(プロバイダ)にご連絡いただき、
インターネットに必要な
「認証ID」「認証パスワード」の変更手続きをおとり下さい。

光(またはADSL)回線で、PPPoE接続でインターネットを
ご利用の**お客様のみに対象**です。

以下、2つとも該当する場合は、
「認証ID」「認証パスワード」の**変更手続きが必要**です。

- ① 本製品は、RTモードで使用している。
(ケーブルテレビ回線**以外**で)
- ② 本製品に「認証ID」「認証パスワード」を登録して
インターネットをしている。

STEP 6

上記すべて該当した場合は、**STEP 6**に進んでください。

上記該当しない。または「ケーブルテレビ回線」の場合は、

STEP 7

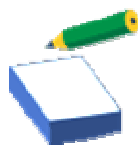
STEP 7に進んでください。

※ISPに変更手続きすると、インターネットが繋がらなくなる為、
手順の把握を事前にお済ませいただくか、
本コンテンツのPDFダウンロードを強くお奨めいたします

⇒ 本コンテンツの [PDFダウンロード](#) リンク
※ファイル名は「logitec4112」になります。

STEP 6

➡ インターネットの再設定 ⬅



再発行された「認証ID」「認証パスワード」での
インターネット再設定となります。

パソコンを使用し、
製品添付の「かんたんセットアップツール」CDをご利用ください。

※同梱の「かんたんセットアップガイド」もご参照ください。



設定中に以下の画面が表示されたら、再発行された内容(認証ID、認証パスワード)を入力します。

PPPoE設定

ご契約先のプロバイダから提供されている資料に記載されている「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。
※画面が切り替わるまで 2〜3分かかる場合があります。

ユーザー名(U):

パスワード(P):

パスワード確認(C):

☐ パスワードを表示する(S)

ヒント
プロバイダより提供されているユーザー名を正確に入力してください。
<例>logitec@xxx.ne.jp
※プロバイダによって呼び方が異なる場合があります。
認証ID、接続ID、ユーザーID、アカウントなど

OK

キャンセル

＜プロバイダ様からの書面＞

【書面の名称】


①ユーザー名に該当する記載

②パスワードに該当する記載

プロバイダから提供されるインターネットに必要な書類

ユーザー名	再発行された認証ID(またはユーザーID)
パスワード パスワード確認	再発行された認証パスワード

＜ご参考＞
ルータの管理画面での手動再設定方法される場合は以下のボタンをクリックください。

 **インターネット再設定(手動)**

⇒ 上記ボタンをクリックしますと別ページで開きます。

STEP 7

➡ 以前の環境に戻します ⬅



本件の作業におきまして、以下該当する場合、

ご注意	スライドスイッチを 「AP」→「RT」に切り替えた
	ルータに繋いでいたモデム等からの 有線ケーブルを抜いた

忘れずに元に戻してください。

以上で、終了となります。

ご協力ありがとうございました。

＜ご参考／関連リンク＞

- インターネットの「認証パスワードを変更された」場合は[こちら](#)。
- ルータの管理画面で「ファームウェアの更新」をされる方は[こちら](#)
- IPv6（光テレビ・ウィルスクリア等）通信設定をされる方は[こちら](#)

- 無線接続（ご参考リンク） Windows7 は[こちら](#)
- 無線接続（ご参考リンク） WindowsVISTA は[こちら](#)
- 無線接続（ご参考リンク） WindowsXP は[こちら](#)
- 無線接続（ご参考リンク） WindowsMacOSX は[こちら](#)

ご不明な点がございましたら、「お客様相談室」までお問い合わせをお願いします。

ロジテック製300Mbps無線LANブロードバンドルータ
(LAN-W300N/R、LAN-W300N/RS、LAN-W300N/RU2) 専用お問い合わせ窓口

「お客様相談室」

電話番号: **0120-741-422** (フリーダイヤル)

受付時間: 10:00～12:00 13:00～18:00

月曜日～金曜日(祝祭日、夏期・年末年始特定休業日を除く)